

授業科目 基礎看護学実習 I	区分・教育内容		
	専門分野 I 臨地実習		
授業担当者 堀 裕美	開講時期	単位数	時間数
	後期	1 単位	45 時間
授業の目的 患者への接し方を学び、基本的ニーズに応じた援助が実施できる			
授業の目標 <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者に応じた接し方ができる 2. 患者の基本的ニーズを把握できる 3. 患者の基本的ニーズに応じた援助ができる 4. 実施した援助を評価できる 5. 看護についてわかったことを述べることができる 			
授業概要 本実習では、看護の対象とその療養環境について学ぶ。また、病棟で働く看護師に同行し、看護の仕事の理解を深めてほしい。患者への接し方や、看護師が何を目標して何を観察し、どのように判断して看護実践しているかを知ることができる。患者のニーズやそれに対する看護を学ぶ機会とする。 さらに、学生 1 ないし 2 名で患者 1 名を受持ち、関係作りの基本である会話の導入及び発展のさせ方や、対象に応じた接し方を学ぶ。患者とのコミュニケーションや観察で得た情報から、基本的ニーズが充足されているかを考え、看護援助を行う。安全、安楽、患者の反応から、看護援助の妥当性を評価する。 見学や実践などの体験を通し、対象を理解するとともに、患者に行われている看護について考える機会とする。			
授業計画（進め方） <ol style="list-style-type: none"> 1. 日程・実習場所は、ガイダンスに準じる 2. 病院内、病棟内を見学し、施設の概要を知る 3. 看護師の業務に同行し、見学する 4. 患者 1 名を学生 1～2 名で受け持ち、コミュニケーションの実際を学ぶ 5. 患者とのかかわりからニーズを把握し、用紙 1・2 に整理する。また、援助の必要性を導き出し、看護援助を展開する 6. 1 日の実習内容と学びはカンファレンスで交流した後、用紙 3～5 に整理し、安全・安楽・自立の視点から、援助の妥当性を振り返る 7. 実習終了カンファレンスで看護についての学びを交流する 			
テキスト ナーシンググラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 メディカ出版 看護技術プラクティス 第 4 版 学研 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント メディックメディア			
指定図書・参考書 城ヶ端初子監修 実践に生かす看護理論 19 サイオ出版			
評価の方法 評価表をもとに、臨床指導者及び教員の評価によって行う			